

医療安全 I

2021 年度入学 1 年次	単位	1 単位（15 時間）	講師	小樽市立病院 看護師	実務経験の有無
					有
I. 学習目的 看護医療事故に関する看護職の責任と法的範囲を理解するとともに、看護実践における事故のリスクとその予防を考えていくための基礎的知識を習得する。					
II. 学習目標 1. 医療・看護行為は危険が内在していることを認識し、事故を予防するためにはそれを予防するための行為を主体的に行わなければいけないことを自覚できる。 2. 医療・看護事故の概念、事故の種類と発生要因が理解できる。 3. 人間の行動とヒューマンエラーの概念を理解し、その前提にたった看護・医療事故予防を考えることができる。 4. 看護・医療事故予防における看護師の責任と法的責任が理解できる。 5. 対象の権利擁護のために、看護倫理に基づいた行動をとることが大切であることを理解できる。 6. 看護実践における看護・医療事故予防の視点を理解できる。					
III. 学習内容 1. 看護・医療事故とは 2. ヒューマンエラーと人間の特性 3. 安全とリスク予防 4. 看護・医療事故予防に関する看護職の責任と法的責任 5. 看護・医療事故と事故後の分析と共有化 6. 看護・医療事故予防の根幹となる看護倫理 7. 看護・医療事故予防と看護実践 8. GW・発表					
IV. 評価方法： 筆記試験					
V. 教材：ナースンググラフィカ 看護の統合と実践② 医療安全 メディカ出版					

医療安全Ⅱ

2019 年度入学 3 年次	単位	1 単位（30 時間）	講師	小樽市立病院 看護師	実務経験の有無
					有
I. 学習目的：医療システムの危険要因を知り、医療安全の知識、確認、対応方法について学ぶ。					
II. 学習目標					
1. 看護実践における事故防止のための知識・技術を習得する。					
2. ハイリスク環境下で、危険を回避し、安全な看護を提供するための判断力・実践力を養う。					
3. 事故の結果を最小限にするための知識や方法を習得する。					
4. 事件事例分析を行い、事故の構造と要因、そこから対策を講じていくプロセスを体験し、そのための基礎的能力を養う。					
III. 学習内容					
1. 医療安全の概念					
2. コミュニケーション・SBAR					
3. 事故発生のメカニズム					
4. 転倒・転落					
5. 誤薬					
6. ドレーン・チューブ					
7. 輸血・栄養					
8. 輸液ポンプ・シリンジポンプ／検査					
9. 患者誤認防止／針刺し・粘膜曝露					
10. 5S・KYT					
11. RCA 分析					
12. グループワーク①（出来事流れ図）					
13. グループワーク②（なぜなぜ分析）					
14. グループワーク③（なぜなぜ分析）					
15. グループワーク④、対策立案・発表					
IV. 評価方法：筆記試験					
V. 教材：医療安全ワークブック 医学書院 ナーシング・グラフィカ 医療安全 MCメディカ出版					

看護統合演習

2019 年度入学 3 年次	単位	1 単位（30 時間）	講師	松井 光子 日達 泉	実務経験の有無
					有
I. 学習目的：対象者を尊重し、対象者の病状や状況を踏まえ、必要な看護技術の優先順位を考え、根拠に基づき安全・安楽に看護を実践できる基礎的能力を身につける。					
II. 学習目標					
1. 既習の知識・技術を統合し、複数の対象（紙上事例）をアセスメントし、根拠に基づき、必要な看護援助を立案することができる。					
2. 臨床に近い状況下で総合的な判断、対応を体験することにより、多重課題の優先順位を考え、看護を実践することができる。					
3. 自己の看護実践力の確認ができ、課題を明確にできる。					
III. 学習内容					
1. 複数患者を受け持つために必要なこと（講義）					
2. 多重課題への対処の原則（講義）					
3. 多重課題への対処の原則（GW）					
4. 複数患者の行動計画の立案（GW）					
5. 複数患者の行動計画の立案（GW）					
6. 複数患者の行動計画の立案（GW 発表）					
7. 複数患者の行動計画の立案（GW 発表）					
8. 優先順位を考えた複数患者への状態観察（G 演習）					
9. 優先順位を考えた複数患者への状態観察（G 演習）					
10. 優先順位を考えた複数患者への状態観察（G 演習）					
11. 優先順位を考えた複数患者への状態観察（技術チェック①）					
12. 技術チェック①の振り返り（G 演習）					
13. アセスメントや優先順位を考えた報告（G 演習）					
14. アセスメントや優先順位を考えた報告（技術チェック②）					
15. 演習の振り返りと自己の課題					
IV. 評価方法：筆記試験 60%、技術チェック 40% 筆記、技術の 2 項目より評価し、すべての合格により単位を認定する					
V. 教材：できるナースの動き方がわかる多重課題クリアノート 学研					

総合看護概論

2019年度入学 3年次	単位	1単位（30時間）	講師	小樽市立病院看護師・佐藤 節子	実務経験の有無
					有
I. 学習目的					
<ol style="list-style-type: none"> 1. 医療現場でのチーム医療と看護の役割・責務、看護における倫理、マネジメントの基礎について学ぶ。 2. 災害における看護活動や国際的視点での看護活動について学び、看護の展望、課題について考える契機とする。 					
II. 学習目標					
<ol style="list-style-type: none"> 1. 看護の専門性と看護倫理について学び、看護実践における倫理的課題を解決する基本的考えについて理解できる。 2. チーム医療における看護師の役割、リーダーシップとメンバーシップについて学び、他職種との協働について理解することができる。 3. 看護におけるマネジメントの基礎について学び、看護活動全体への影響、および必要な機能であることが理解できる。 4. 国際看護学・災害看護学についての基礎的知識を学び、新たな看護活動について理解できる。 					
III. 学習内容					
<ol style="list-style-type: none"> 1. 専門職としての看護・看護職の法的責任 2. 看護とマネジメント 3. 看護ケアのマネジメント 4. 看護職のキャリアマネジメント、マネジメントに必要な知識と技術 5. 看護サービスのマネジメント 6. 看護における倫理 7. 看護倫理 GW 8. 看護倫理 GW 発表 9. 国際看護学とは、国際協力について 10. 災害看護とは、CSCA,TTT,トリアージについて 11. 災害看護の実践（トリアージ、PAT 法、タッグ記入） 12. 災害看護の実際①（演習） 13. 災害看護の実際②（演習） 14. 避難所の看護 15. 総合看護概論まとめ 					
IV. 評価方法：筆記試験					
V. 教材：系統看護学講座 統合分野 看護の統合と実践[1] 看護管理 医学書院 系統看護学講座 統合分野 看護の統合と実践[3] 災害看護学・国際看護学 医学書院					